令和２年度　第１回菊川市男女共同参画推進懇話会　報告書

日　　時	令和２年７月 30 日（木） 18：30～20：00	場　　所	菊川市役所庁舎東館３階Ｅ301 会議室
検討事項	(1) 第３次菊川市男女共同参画プラン令和元年度進捗状況について (2) 令和２年度男女共同参画事業について		

(1) 第３次菊川市男女共同参画プラン令和元年度進捗状況について…資料１－１、１－２、１－３

１－１　第３次菊川市男女共同参画プラン令和元年度進捗状況

１－２　第３次菊川市男女共同参画プラン令和元年度事業進捗状況

１－３　第３次菊川市男女共同参画プラン令和元年度指標進捗状況

【事務局】第３次菊川市男女共同参画プラン令和元年度進捗状況について説明。

＜委員からの質疑＞

・女性職員の管理職への意欲が低いのではないか。

→【事務局】市役所女性の管理職登用について、意欲の部分もあるかもしれないが、女性職員の人数自体の状況もあり一概に言えない。

・認知症サポーターの養成講座を受講しても活躍の場がないので活躍の場を考えてほしい。

→【事務局】市の職員や企業でも受講してもらっているので、受講者自体は増えている。そのあとの活躍の場として、大げさな活動ではなく継続的に参加できるようなことを担当である長寿介護課が考えているので、担当課を中心に進めていければと考えている。

・プレママ・プレパパサロンに参加してもその後の活動に参加する人が少ないのではないか。

→【事務局】プレママ・プレパパサロンは夫婦できてもらうよう呼びかけているので一緒に来るが、その後の教室には一緒に参加する人が少ない。継続的に参加できるものが必要だと思うので考えていく必要がある。

・各課が主催する委員会への女性登用の呼びかけは年に１回でいいのか。

→【事務局】全課長が集まる課長会議で女性の登用を各課の課長にお願いしている。年１回でいいかというとそうではないため増やしていかなければならない。各課の委員改選のタイミングに合わせて呼びかけを増やしていくことができる。最近は各課からどういったところで女性を入れられるか相談に来ることがあり、各課でも女性の委員登用への意識を持つようになってきている。

・地域に関する講座の開催３事業は具体的に何か。

→【事務局】具体的には、きくがわ未来塾とスキルアップ講座を開催した。きくがわ未来塾は一般の方で地域活動に興味のある人が参加し、自分たちのやりたいことを小規模でもいいので実現する講座。スキルアップ講座は NPO や地域活動団体の活動を紹介するため、プレスリリース講座を開催した。どうすればプレスに届くかという講座と各団体を紹介する冊子のデザイン性を高めるための講座をそれぞれ開催。その場でデザイナーにアドバイスをもらい、チラシや冊子を作り変えるなどの活動を行った。

＜委員からの意見＞
・自治会役員の女性登用率について、菊川市は高い方だが女性が自治会に参画するには子どもをサポートする環境が必要になる。
→【事務局】女性登用への呼びかけはしているが、なかなか登用率は上がっていない。登用率の高い他市町がどう取り組みを進めているか参考にしたい。女性の意見を反映できる場は必要であるため、どうすれば女性も参画しやすい環境になるか考える必要がある。自治会とは別にコミュニティ協議会という地区のコミュニティを考える場では女性の割合が増えており、女性の意見も出ている。特に防災分野についてはもう少し女性の意見が反映できるといいと思う。
・男性の育児休暇取得について、制度があっても取得しにくいので、男性の意識の向上のために何ができるか考えていきたい。
→【事務局】昨年度初めて菊川市の男性職員が取得した。今後も組織全体として取得しやすい環境づくりが必要。特に大変な産後１週間は必ず取得する、としていかないと全体として進んでいかないと感じる。

⑵ 令和元年度男女共同参画事業…資料２－１～２－５、参考資料
【事務局】小学生への職業講話、園児への読み聞かせ、男女共同参画庁内啓発活動、男女共同参画に関する市民アンケート、地域における女性の防災講演会について説明。

⑶ 講評（橋本アドバイザー）
・キャリアの谷を乗り越えるためのポイント
・自身を動かした言葉、本、人の紹介
・言葉の持つ力について

⑷ その他
・次回懇話会について